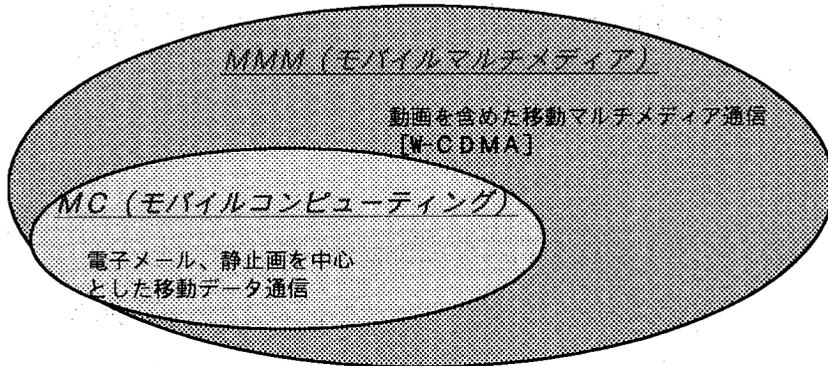


IntranetとMobile環境

NTT移動通信網株式会社
モバイルコンピューティングビジネス部
進藤 秀一

MC:モバイルコンピューティング とは



移動通信と固定通信 どちらを選ぶ？

- 現状で全体の約1/3が移動通信を利用
- 公衆電話1分10円、移動通信1分30円
- 2000年には移動通信と固定通信が対等

マルチメディア化はどこまで

- 電子メール(文字)伝送所要時間約3秒
- カラー写真伝送所要時間約1分
- カラオケMIDI信号伝送所要時間約1分
- ファックス伝送所要時間約1分
- インターネット品質のビデオ伝送は5秒に1コマ

(以上9600bpsの場合)

イントラネットへの導入は すでに開始

- オフィスに一人一台のPC環境は移動時にもデータ通信が必要不可欠
- 主な用途はデータベースアクセスと電子メール(リモートLAN接続)

マス向け電子メール普及も 時間の問題

- 小型端末:(ショートメール対応ムーバ、リブレットモバイルパック、モバイルZ ... その他複合端末続々登場)
- 通信料金:全国一律10円メール

10円メールの特徴

- 安い(2kバイト10円)、早い(12秒以内)
- 一回10円のアクセスチャージのみで、アクセス基本料無料
- フリーナンバーにより通話料無料
- ドコモのデジタル携帯であればプラン種別を問わず
- インターネットメールとの相互変換

ポケベルの利用

- ネクストサービスで50漢字文字／コール実現
- インターネットメールでメッセージ送信可能
- 各種情報(ニュース、天気予報、占い等)をポケベルに送信可能

衛星通信サービス計画

—N-STAR衛星サービス利用の考え—

- 携帯電話における人口カバー率、面積カバー率の100%化への前進
- 船舶電話におけるエリアの拡大、不感地解消
- 地上系のセルラー方式では投資効率が悪い
(広い面積でトラフィック密度が低い)
- 衛星による移動通信サービスの実施
 - 衛星携帯・自動車電話サービス—陸上セルラー方式のエリア補完
 - 衛星船舶電話サービス—現行船舶電話の後継

今後の動向

- 無線機内蔵情報端末は1年以内に発売予定(重量200g以下)
- 携帯電話型と電子手帳型は2年以内にほぼ同一デザイン化(重量150g以下)
- ネットワークサービスとしてメール関連付加サービスおよびエージェント機能サービスが発展、普及

“キラー”アプリケーション、コンテンツ

- ・インターネットアクセス(AT&T Wireless)
- ・携帯情報端末:PDA, HPC...
- ・デスクトップPC/LANとのリンケージ(3COM/IBM)